

第58回 『あいおの会』

-失語症友の会-

1、「失語症友の会」とは

失語症とは、脳卒中や事故などの後遺症によって、言葉を操る能力に障害が残った状態をいい、聞く・話す・読む・書くことすべてに影響を及ぼします。このような失語症の方に対して、言語聴覚士が中心となり、個別の訓練・支援をおこなっております。

失語症の多くの人は、日常の何気ない会話が不自由になり、仕事や趣味活動など、社会活動への参加が難しくなります。そこで、熱海・伊東地区では、失語症の方々のコミュニケーションの機会を作り、交流を深めるという目的で、平成18年7月より「失語症友の会」を開催しております。会には国際医療福祉大学熱海病院と熱海所記念病院の言語聴覚士や患者様のご家族も参加しております。

2、第58回「あいおの会」

平成30年2月4日(日)国際医療福祉大学熱海病院にて、第58回失語症友の会が開かれました。8月振りの開催となっていましたが今回は失語症患者様6名と言語聴覚士6名にて開催しました。

今回は、今年の目標発表と仲間はずれゲームを行いました。目標発表では皆さん様々な目標を発表されました。目標に向かって今年も頑張りましょう！仲間はずれゲームでは、いくつかの絵の中から仲間はずれの1枚を当て合いました。こちらも皆さん様々な意見が出て盛り上りました。歌は、たき火と雪を歌い会場が温まりました。

今回は体調を崩されて参加できなかった会員様が多く残念でしたが、次回開催時には皆様にお会いできることを楽しみにしております。



次回は、5月13日（日）13時 国際医療福祉大学熱海病院 大会議室で行います。